

第28回人権・同和問題企業啓発講座のご案内

企業経営に求められる人権の視点

近年、企業が社会に与える影響はますます大きくなっており、法令遵守や企業倫理の徹底はもとより、企業活動のあらゆる面で、環境や安全への配慮、人権を尊重した企業経営を行っていくこと、すなわち「企業の社会的責任」を果たしていくことが強く求められています。

人権尊重のための公正な採用選考

一人ひとりの人生に大きな影響を与える「就職」にあたっては、いかなる差別も許されません。

しかし、残念ながら、今なお従業員の採用時に、本人の同意なく就職差別につながる書類の提出を求めたり、採用面接時に応募者本人の適性と能力と何ら関係のない不適切な質問を行うなど、「公正な採用選考」に反する問題事象が数多く報告されています。

また、一昨年来から行政書士等による戸籍謄本不正取得事件や新たな部落地名総鑑の発覚等、依然として差別身元調査に通じる事件も相次いでいます。

「公正な採用選考」は、就職差別をなくすものであるとともに、企業が真に本人の適性・能力に基づいて、人材を確保するための第一歩の取り組みでもあります。

明るくコミュニケーション豊かな職場づくりは社内人権研修から

明るくコミュニケーション豊かな職場づくりには、全ての従業員が、お互いに尊重し認め合う職場風土の形成が求められ、そのためには、企業内の人権研修を体系的に推進していくことが必要です。

大阪企業人権協議会では「おおさか社内人権研修サポートセンター」を設置し、人権研修の取り組みについて、かかりつけで総合的なアドバイスを提供しています。

おおさか社内人権研修サポートセンター

(大阪府中央区石町2-5-3 エル・おおさか南館9階 電話06-6947-0022)

第28回人権・同和問題企業啓発講座へご参加を！

本講座は、行政・経済団体・民間団体が共同して昭和54年から開催しているものですが、同和問題をはじめとする人権問題解決に向け、各課題に関するタイムリーな講演や企業内人権研修の実践例の紹介など、幅広い内容で構成されています。

ぜひとも、本講座を貴事業所における人権の取り組みの一つとして積極的にご活用いただき、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

平成19年8月

大阪府商工労働部長

熊谷

敬